

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	少年育成センター
	施策	青少年の健全育成		電話番号	087-839-2635
	基本事業	青少年健全育成の推進		事業実施主体	市
	事務事業	非行防止活動事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	非行防止活動事業と少年育成センター運営事業は、少年の健全な育成保護を図るという同一の目標であるため、平成28年度から一つの事業を統合し、非行防止活動事業として、少年非行の早期発見・早期指導等を行い、青少年健全育成・非行防止活動の推進を図る。		
30年度概要	補導活動を充実させ、不良行為少年の補導人数減少に繋げる。また、小学校4年生を対象に情報モラル出前授業を実施するとともに、保護者にも啓発用パンフレットを配布して、少年のインターネット利用に係るトラブルの未然防止を図る。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）


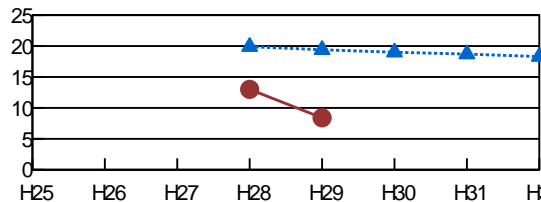

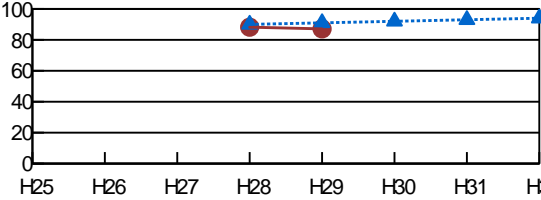
【事業の目的】

対象（何を）	市内の少年、高松市立小学校4年生（情報モラル教育に関する事業の対象）
意図（どのような状態にしたいか）	少年非行の早期発見・早期指導等を行うことにより、少年非行の減少を図るとともに、少年のインターネット利用に係るトラブルの未然防止を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
年間延べ補導回数	回		2,023	1,696	2,096	2,096
情報モラル出前授業参加人数	人		2,825	3,044	3,176	3,176

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
少年人口千人当たりの補導人数	人	目標値		19.9	19.4	19	19
		実績値		13	8.4		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 学校及び関係機関・団体等との連携を密にするとともに、より効果的で温かい巡視・補導活動に努めた結果、目標を達成できた。 							(達成度) 156.7% 35点
児童の情報モラルについての理解度	%	目標値		90	91	92	92
		実績値		88.2	87.1		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 昨年度より少し落ちているが、概ね、達成できていると考える。 							(達成度) 95.7% 33点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	37,666	55,316	50,261	50,210
（事業費）	[円]	29,989	31,763	27,500	27,449
（職員人件費）	[円]	7,677	23,553	22,761	22,761

【評価】

評価ランク (A～D)	<b>A</b>	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	<b>継続</b>
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

関係団体、各地域と連携して補導や万引き防止キャンペーンなど広報啓発の充実を図っている。今後も、関係団体、地域と連携して、地域で子どもを見守ることが重要である。また、インターネットに関しては、ネットトラブルとネット依存の問題があり、情報モラル出前授業を実施することで、インターネットに係るトラブルの未然防止を図っている。昨年度、ネット依存の問題について試行実施した。今後は、全児童生徒を対象に拡充していくことが課題である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

関係団体、各地域と連携を図り、引き続き、地域で子どもを見守っていくとともに万引き防止など少年非行の早期防止に努める。情報モラル教育については、出前授業を実施するとともに、児童生徒自身がインターネットやゲーム機等の利用について考え、自己管理能力に繋げる。